

平成28年度

障害者支援施設等における 事故報告集計・分析結果

- I 平成28年度の状況
 - 1 事故の内容
 - 2 事故の月別発生件数
 - 3 事故の内容別月別発生件数
 - (1) 骨折の月別発生件数
 - (2) 打撲の月別発生件数
 - (3) 誤薬の月別発生件数
 - (4) 無断外出の月別発生件数
 - (5) 誤嚥の月別発生件数と重症化
 - 4 骨折と打撲における受傷部位
 - 5 事故の施設別発生件数
 - 6 事故の発生事例
- II 平成28年度の重大事故
 - 1 重大事故・死亡事故の割合
 - 2 重大事故の内容
 - 3 重大事故の月別発生件数
 - 4 重大事故の施設別発生件数
- III 年度比較
 - 1 事故報告件数の年度推移
 - 2 事故の内容
- IV その他
 - 1 対象施設一覧

保健福祉部福祉局施設運営指導課

I 平成28年度の状況

1. 事故の内容

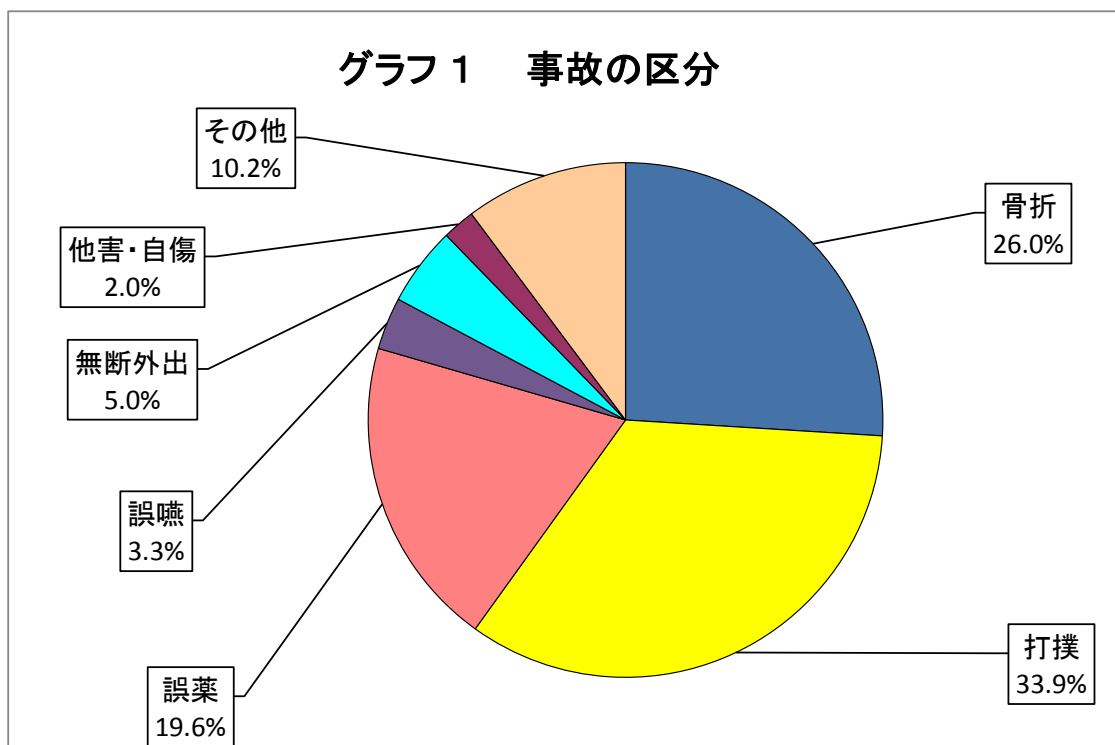
表1 事故の区分 (単位:件、%)

区 分	件数	構成比
骨折 ※1	356	26.0
打撲 ※2	465	33.9
誤薬	268	19.6
誤嚥 ※3	45	3.3
無断外出	68	5.0
他害・自傷	28	2.0
その他	140	10.2
合 計	1,370	100.0

※1 骨折:骨折のほか、腱断裂など全治1ヶ月以上の重傷を含む。

※2 打撲:打撲のほか、裂傷・擦過傷・切傷・刺傷などで、全治1ヶ月未満の軽傷を含む。

※3 誤嚥 : 誤嚥のほか、誤飲、誤食を含む。



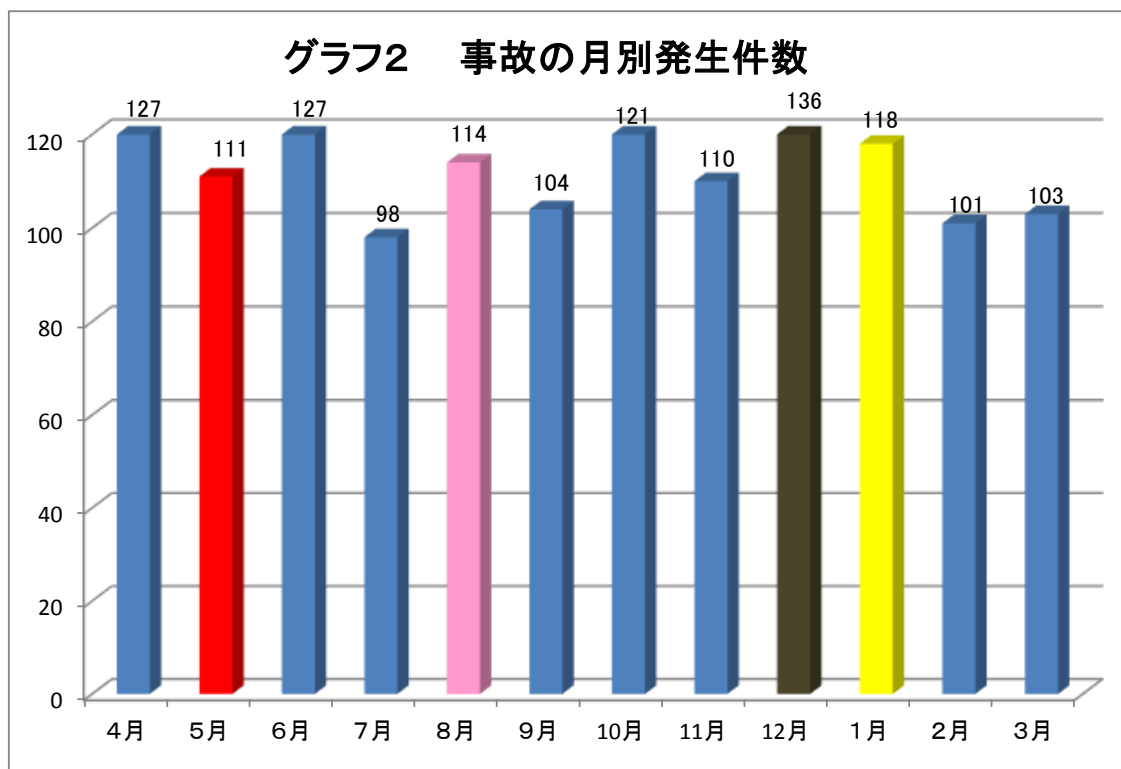
平成28年度の事故報告総数は、1,370件であり前年度(1,237件)に比べ10.8%の増加であった。事故で最も多かったのは「打撲」の465件(33.9%)で、次いで「骨折」(26.0%)、「誤薬」(19.6%)の順となっている。ここ数年この順位は変わっていない。

障害者支援施設等では「打撲」が最多で3分の1以上であるが、老人福祉施設等では「誤薬」が一番多いという違いがみられる。

2. 事故の月別発生件数

表2 事故の月別発生件数 (単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	127	9.3
5月	111	8.1
6月	127	9.3
7月	98	7.2
8月	114	8.3
9月	104	7.6
10月	121	8.8
11月	110	8.0
12月	136	9.9
1月	118	8.6
2月	101	7.4
3月	103	7.5
合計	1370	100.0



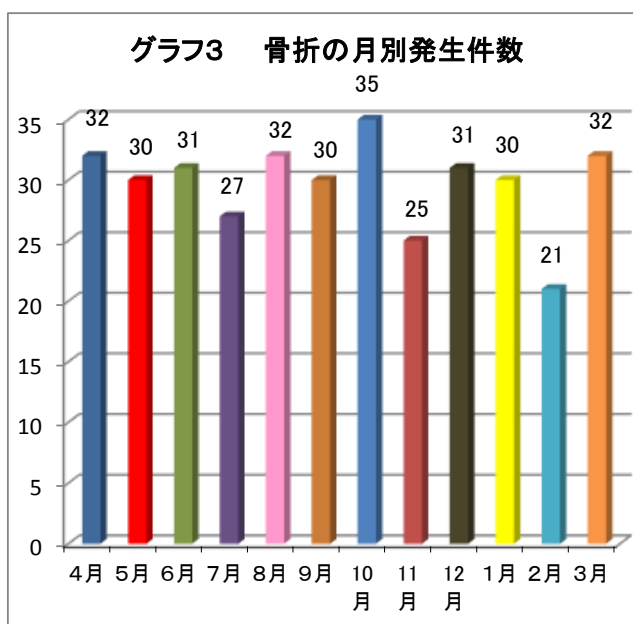
事故の月別発生件数は、12月が136件と最も多かった。7月は98件と最も少ないが、1年を通して各月同様に事故が発生している。

3. 事故の内容別月別発生件数

(1) 骨折の月別発生件数(表3)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	32	9.0
5月	30	8.4
6月	31	8.7
7月	27	7.6
8月	32	9.0
9月	30	8.4
10月	35	9.9
11月	25	7.1
12月	31	8.5
1月	30	8.5
2月	21	5.9
3月	32	9.0
合計	356	100.0

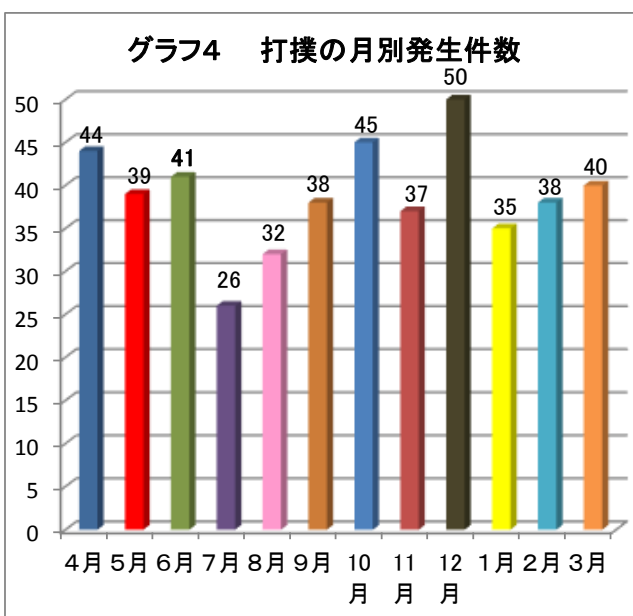


骨折の月別発生件数は、10月が35件と最も多く、2月が21件で最も少なかった。

(2) 打撲の月別発生件数(表4)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	44	9.5
5月	39	8.4
6月	41	8.8
7月	26	5.6
8月	32	6.9
9月	38	8.2
10月	45	9.7
11月	37	7.9
12月	50	10.7
1月	35	7.5
2月	38	8.2
3月	40	8.6
合計	465	100.0

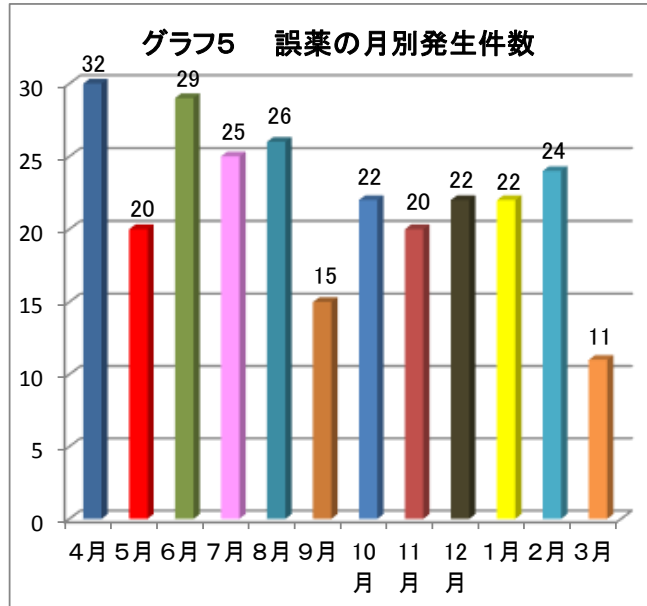


打撲は、12月が50件と最も多く、7月が26件で最も少なかった。

(3) 誤薬の月別発生件数(表5)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	32	11.9
5月	20	7.5
6月	29	10.8
7月	25	9.3
8月	26	9.7
9月	15	5.6
10月	22	8.2
11月	20	7.5
12月	22	8.2
1月	22	8.2
2月	24	9.0
3月	11	4.1
合計	268	100.0

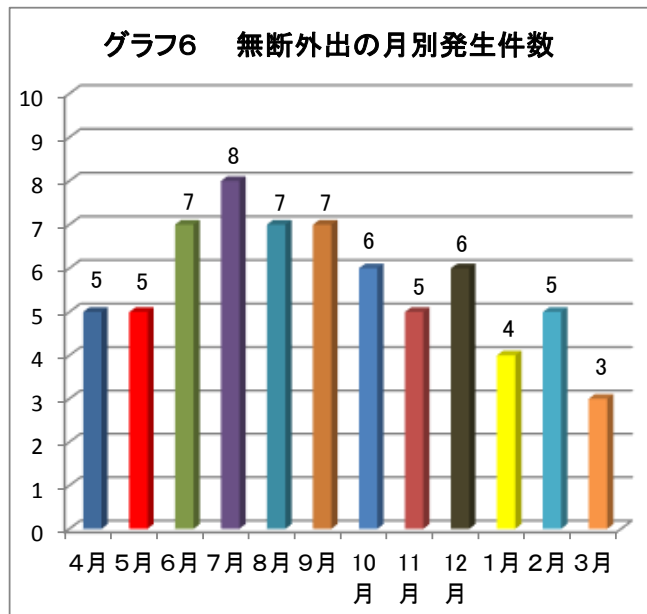


誤薬の年間発生件数は、4月が32件と最も多く、3月が11件と最も少なかった。

(4) 無断外出の月別発生件数(表6)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	5	7.4
5月	5	7.4
6月	7	10.3
7月	8	11.8
8月	7	10.3
9月	7	10.3
10月	6	8.8
11月	5	7.4
12月	6	8.9
1月	4	5.6
2月	5	7.4
3月	3	4.4
合計	68	100.0



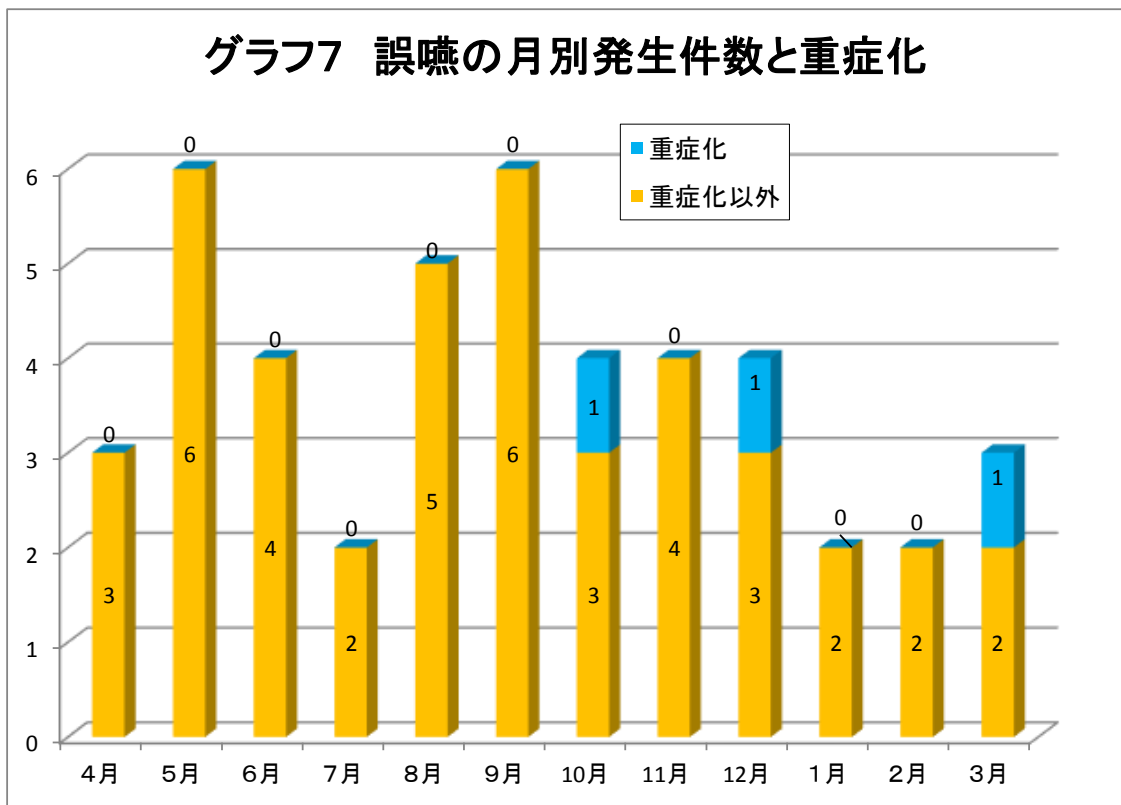
無断外出は、前年度の48件に比べ増加している。月別発生件数は、7月が8件と最も多く、3月が3件と最も少なかった。

(5) 誤嚥の月別発生件数と重症化(表7)

(単位: 件、%)

月	件数	左の内訳		
		重症化以外	重症化	重症化の割合
4月	3	3	0	0.0
5月	6	6	0	0.0
6月	4	4	0	0.0
7月	2	2	0	0.0
8月	5	5	0	0.0
9月	6	6	0	0.0
10月	4	3	1	25.0
11月	4	4	0	0.0
12月	4	3	1	25.0
1月	2	2	0	0.0
2月	2	2	0	0.0
3月	3	2	1	33.3
合計	45	42	3	6.7

※ 重症化 : 死亡や誤嚥性肺炎による入院など

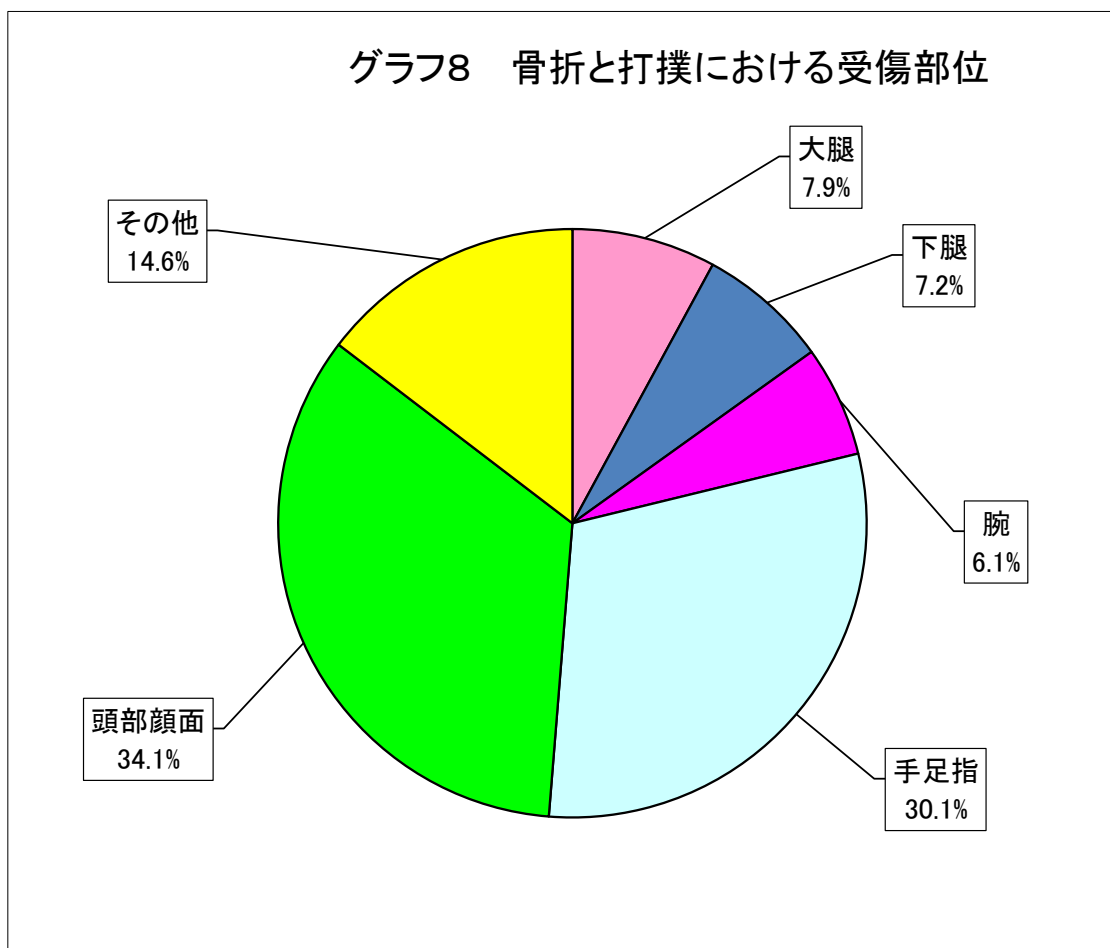


誤嚥の総数は、前年度の40件に比べ5件増加した。重症化の割合は前年度(10.0%)に比べ6.7%に減少した。

4. 骨折と打撲における受傷部位

表8 骨折と打撲における受傷部位 (単位:件、%)

区 分	件数	構成比	左の内訳			
			骨折		打撲	
			件数	構成比	件数	構成比
大腿	65	7.9	49	13.8	16	3.4
下腿	59	7.2	35	9.8	24	5.2
腕	50	6.1	38	10.7	12	2.6
手足指	247	30.1	142	39.3	105	22.6
頭部顔面	280	34.1	14	3.9	266	57.2
その他	120	14.6	78	21.9	42	9.0
合 計	821	100.0	356	100.0	465	100.0

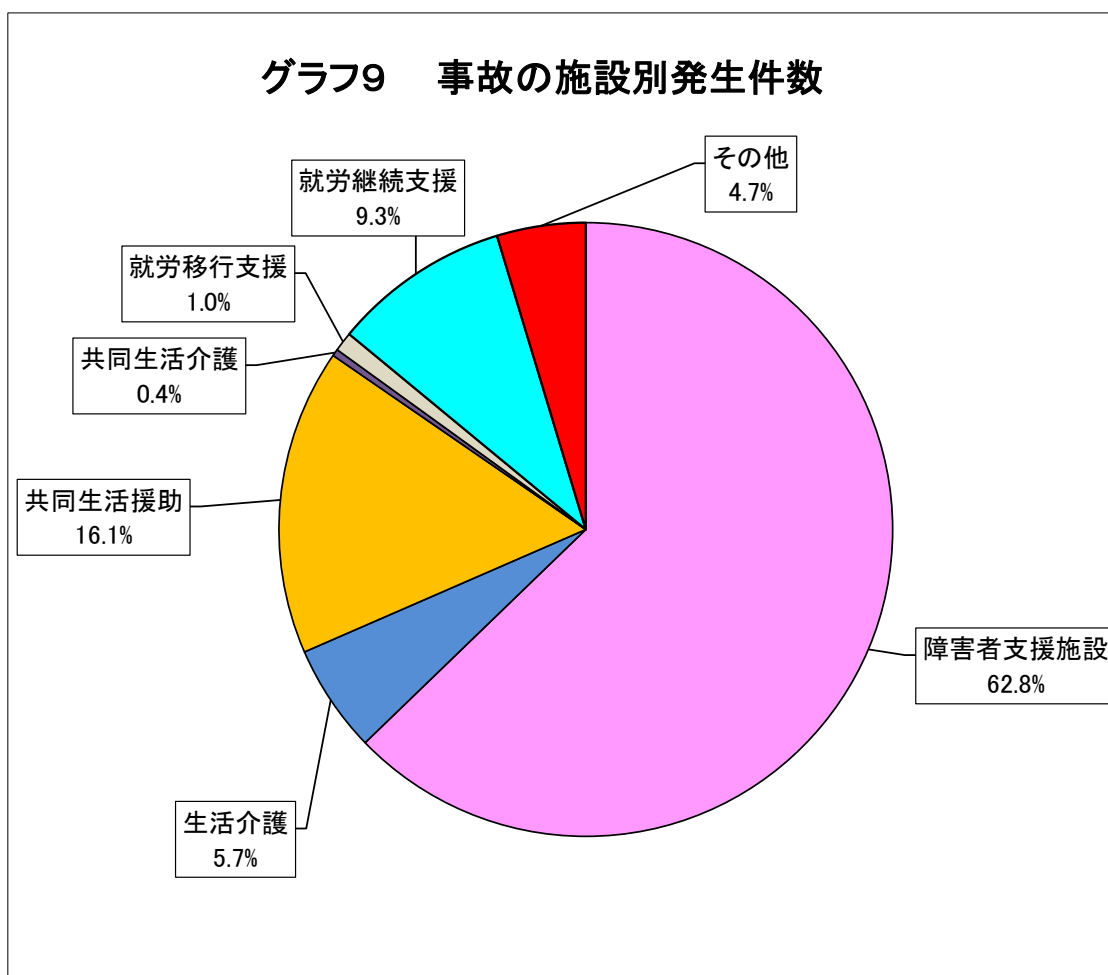


骨折と打撲については、老人福祉施設等と異なり障害者支援施設等においては、打撲の発生件数が骨折の発生件数より多くなっている。骨折と打撲における主な部位では、障害者支援施設等では「頭部顔面」が34.1%と最も多く、次いで「手足指」(30.1%)となっている。また、骨折の受傷部位は「手足指」が39.3%と最も多く、打撲の受傷部位は「頭部顔面」が57.2%と最も多かった。

5. 事故の施設別発生件数

表9 事故の施設別発生件数 (単位:件、%)

区分	件数	構成比
障害者支援施設	860	62.8
生活介護	78	5.7
共同生活援助	221	16.1
共同生活介護	5	0.4
就労移行支援	14	1.0
就労継続支援	128	9.3
その他	64	4.7
合計	1,370	100.0



事故の施設別発生件数は、「障害者支援施設」におけるものが62.8%(860件)で最も多かった。次いで、「共同生活援助」の発生件数が、16.1%(221件)となっている。

6 事故の発生事例

(1) 骨折・打撲

施設区分	事故概要
障害者支援施設	階段を移動中段差につまづき左膝関節骨折。
障害者支援施設	トイレ終了後ズボンを上げようとし転倒し、第二中指骨折。
障害者支援施設	移動介助の際、バランスを崩し、支えきれず転倒し骨折。
障害者支援施設	手動車椅子から転倒し、右脇腹打撲。
障害者支援施設	歩行不安定の下、左に傾き階段で転倒し、左大腿部打撲。
障害者支援施設	洗面所で発作を起こし転倒し後頭部打撲。
障害者支援施設	排泄時車椅子移乗介護中転倒し右大腿部打撲。
共同生活援助	ゴミ捨てに行った帰りに雪で滑って転倒し骨折。
共同生活援助	脱衣所で足を滑らせ転倒し右膝骨折。
生活介護	作業時、凍結路面で転倒し後頭部打撲。
就労継続支援B型	清掃作業中に階段を踏み外して転倒して打撲。
就労継続支援B型	実習先への送迎車両の乗車時に足を滑らせ転倒し、右足腓骨骨折。

(2) 誤薬

施設区分	事故概要
障害者支援施設	配薬漏れによる薬の飲み忘れ、体調変化等確認されず。
障害者支援施設	他利用者の吸引薬を服用させる。体調変化なし。
障害者支援施設	就寝時用の薬を誤って翌朝に服薬させてしまう。
共同生活援助	薬カレンダーの配薬ミス。

(3) 無断外出

施設区分	事故概要
障害者支援施設	居室窓から無断外出。職員により町内で発見保護。事故遭遇なし。
障害者支援施設	無断外出し町内のコンビニからの連絡で職員が保護。

(4) その他

施設区分	事故概要
障害者支援施設	利用者と職員のインフルエンザ感染。

Ⅱ 平成28年度の重大事故

1. 重大事故、死亡事故の割合

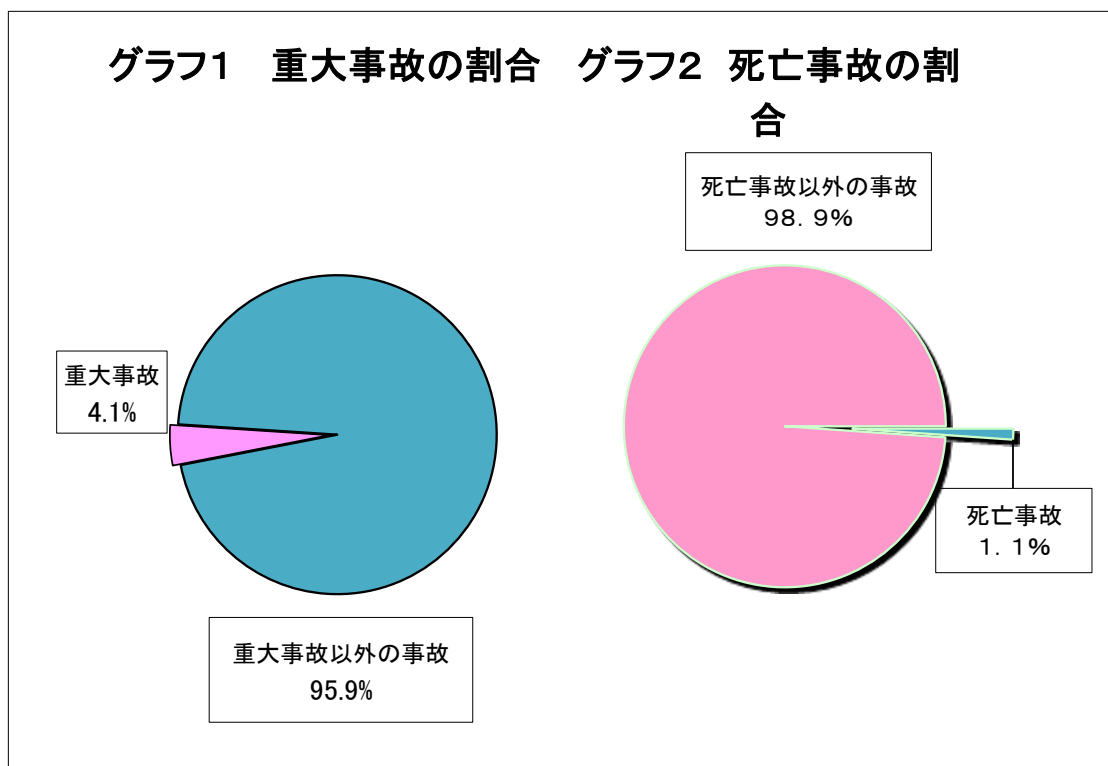
表1 重大事故の割合 (単位:件、%)

区 分	件数	構成比
重大事故	56	4.1
重大事故以外の事故	1,314	95.9
合 計	1,370	100.0

※ 重大事故 : 死亡事故、不法行為、虐待、行方不明等

表2 死亡事故の割合 (単位:件、%)

区 分	件数	構成比
死亡事故	15	1.1
死亡事故以外の事故	1,355	98.9
合 計	1,370	100.0



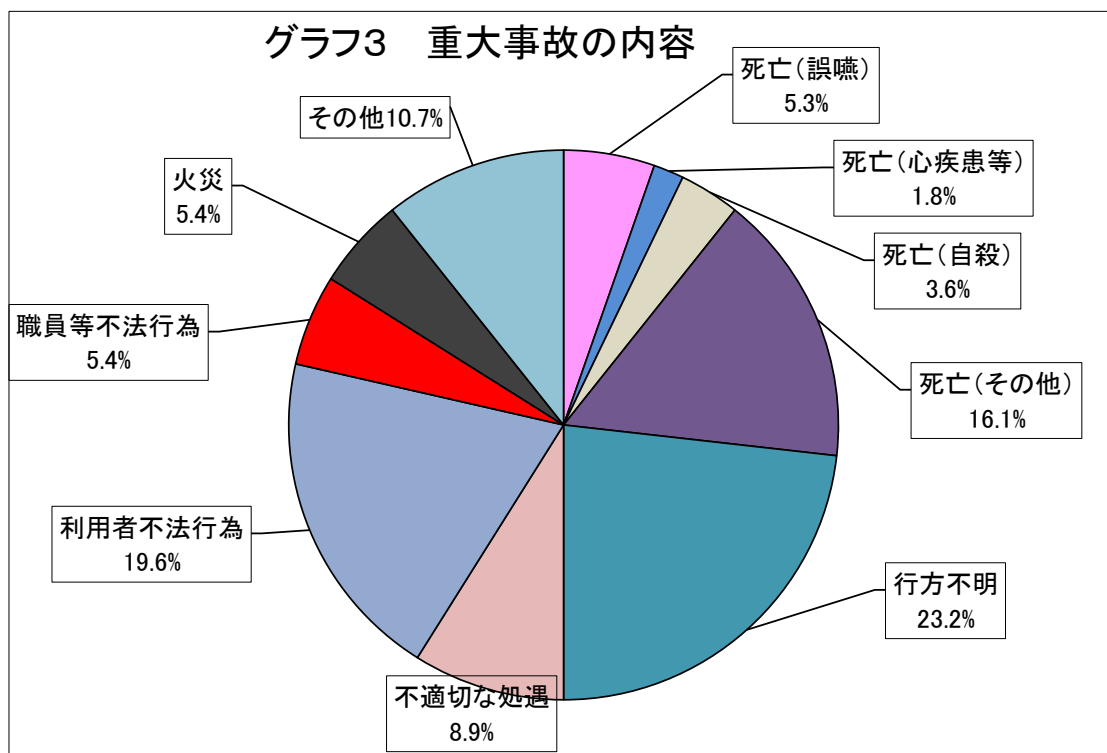
重大事故の事故報告総数は56件で、全体に占める割合は、4.1%であり、老人施設等(1.5%)と比べて高い割合になっている。

また、死亡事故の事故報告総数は15件で、全体に占める割合は1.1%、重大事故に占める割合は26.8%となっており、前年度に比べ増加している(27年度は24.5%)。

2. 重大事故の内容

表3 重大事故の内容（単位：件、％）

区分	件数	構成比
死亡(誤嚥)	3	5.3
死亡(心疾患等)	1	1.8
死亡(自殺)	2	3.6
死亡(その他)	9	16.1
行方不明	13	23.2
不適切な処遇	5	8.9
利用者不法行為	11	19.6
職員等不法行為	3	5.4
不適切な会計処理	0	0.0
火災	3	5.4
その他	6	10.7
合計	56	100.0



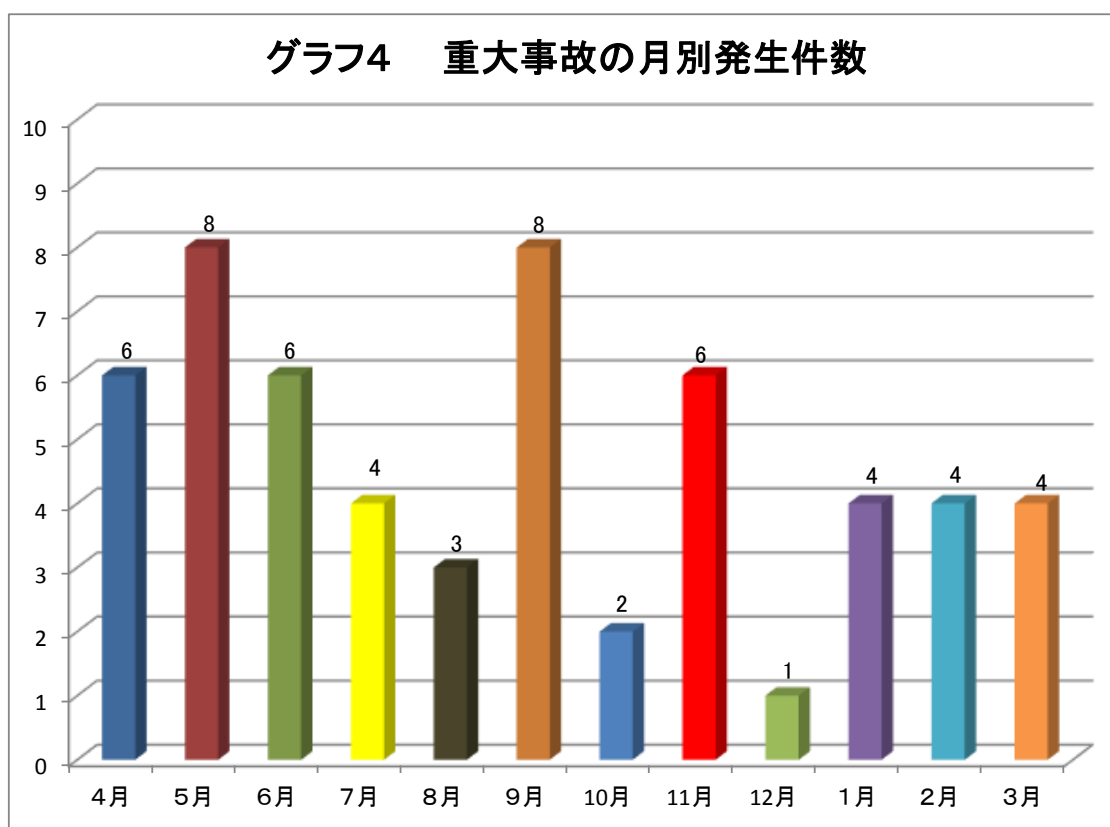
重大事故の内容については、「行方不明」が最も多く全体の23.2％(13件)を占め、次いで「利用者不法行為」(19.6％)、「死亡(その他)」(16.1％)の順となっている。

死亡事故以外での重大事故の内容としては、「行方不明」のほか、「利用者不法行為」となってる。

3. 重大事故の月別発生件数

表4 重大事故の月別発生件数 (単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	6	10.7
5月	8	14.3
6月	6	10.7
7月	4	7.2
8月	3	5.4
9月	8	14.3
10月	2	3.6
11月	6	10.7
12月	1	1.8
1月	4	7.1
2月	4	7.1
3月	4	7.1
合計	56	100.0

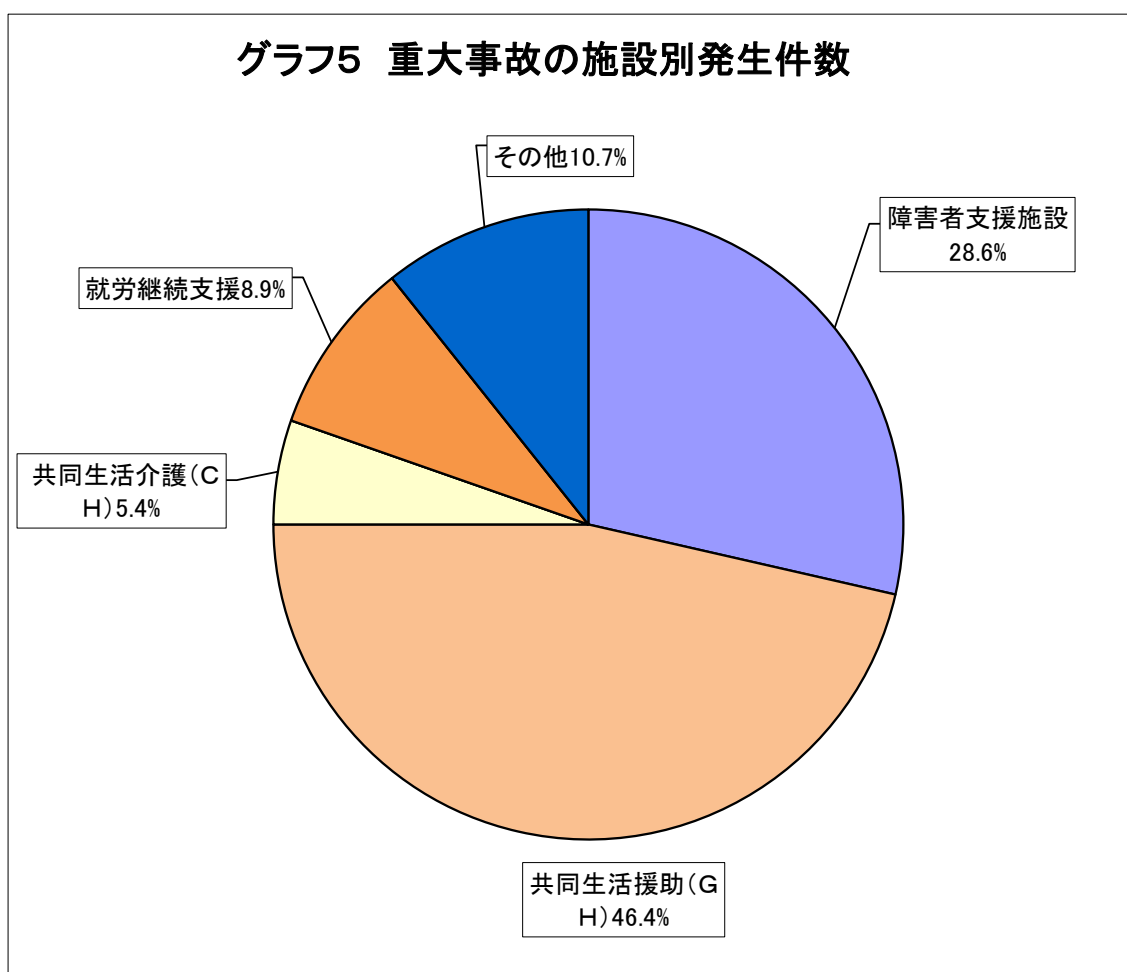


重大事故の月別発生件数は、5月、9月が8件と最も多くなっており、次に、4月、6月、11月が多い月となっている。

4. 重大事故の施設別発生件数

表5 重大事故の施設別発生件数（単位：件、%）

区 分	件数	構成比
障害者支援施設	16	28.6
共同生活援助(GH)	26	46.4
共同生活介護(CH)	3	5.4
就労移行支援	0	0.0
就労継続支援	5	8.9
居宅介護	0	0.0
その他	6	10.7
合 計	56	100.0



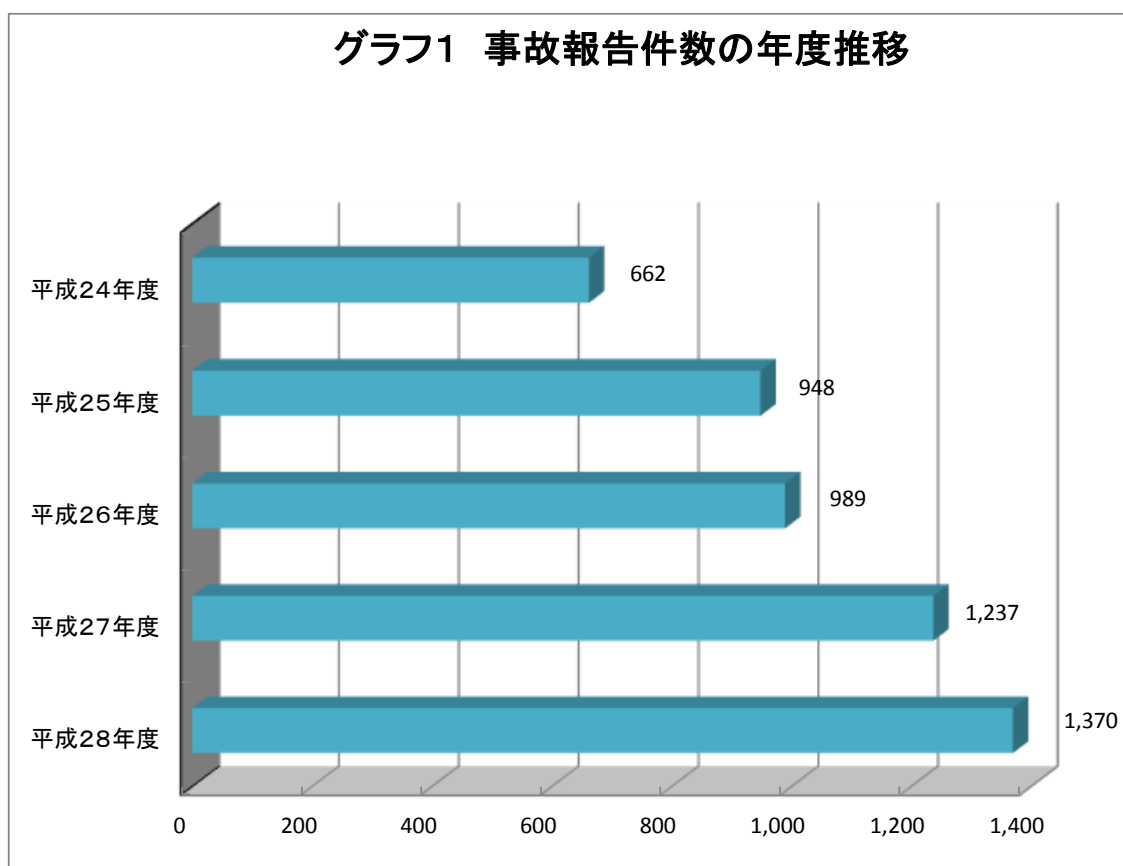
重大事故の施設別発生件数は、「障害者支援施設」が16件と「共同生活援助(GH)」が26件と多かった。

Ⅲ 年度比較

1. 事故報告件数の年度推移

表1 事故報告件数 (単位:件、%)

区分	件数	対前年比
平成24年度	662	108.5
平成25年度	948	143.2
平成26年度	989	104.3
平成27年度	1,237	125.1
平成28年度	1,370	110.8



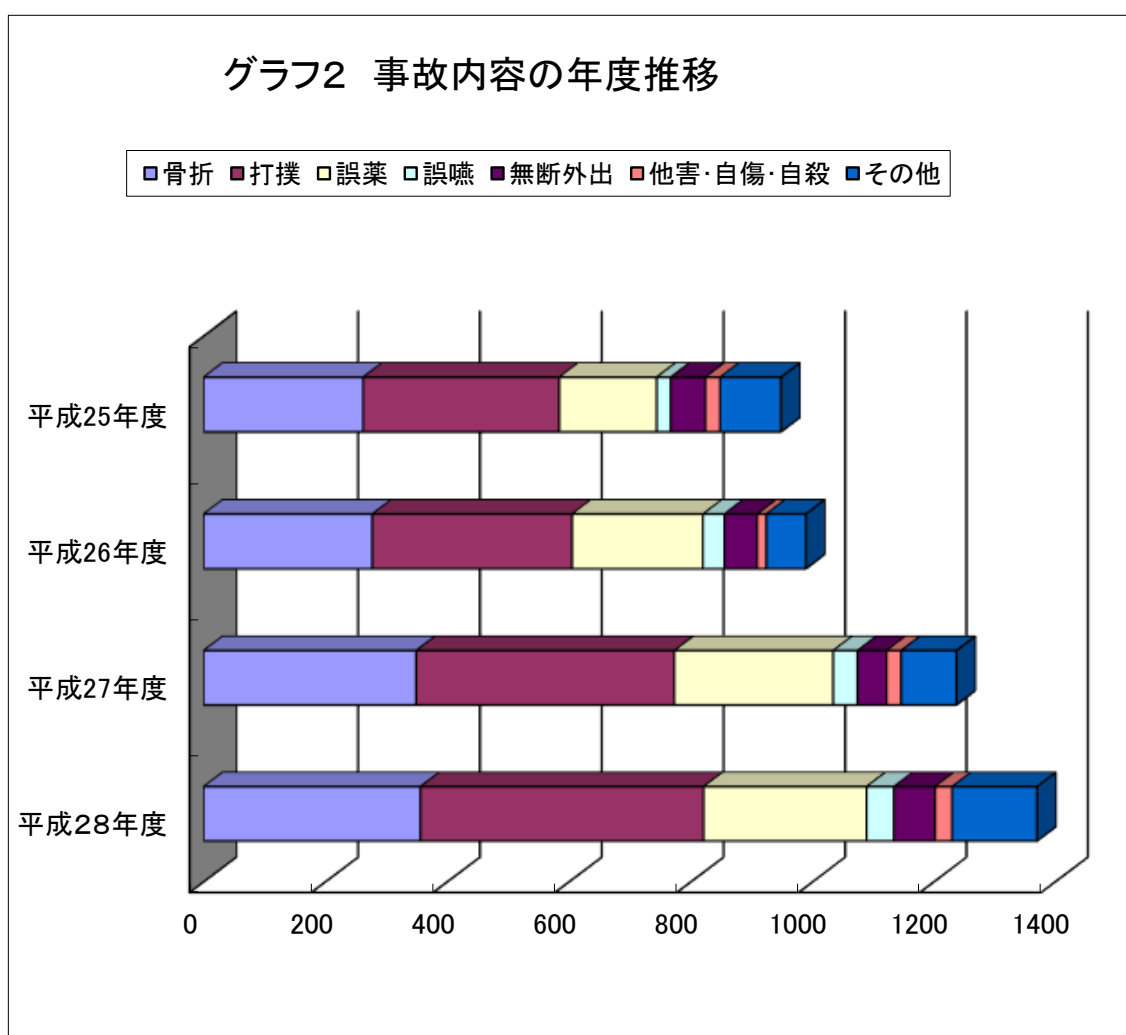
過去5年間いずれも前年より増加しており、平成27年度から平成28年度では10.8%の増加となっている。

増加の要因は、施設・事業所等の増加等による影響が考えられる。

2. 事故の内容

表2 事故内容の年度推移 (単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
骨折	262	277	349	356
打撲	322	328	424	465
誤薬	160	215	261	268
誤嚥	23	35	40	45
無断外出	57	54	48	68
他害・自傷・自殺	24	15	24	28
その他	100	65	91	140
合計	948	989	1237	1370



平成25年度から平成28年度までの事故の内容を見ると、概ね全ての事故内容について増加傾向で推移している。

IV その他

1. 対象施設一覧

居宅介護
重度訪問介護
同行援護
行動援護
療養介護
生活介護
短期入所
重度障害者等包括支援
共同生活介護
自立訓練(機能訓練)
自立訓練(生活訓練)
就労移行支援
就労継続支援A型
就労継続支援B型
共同生活援助
障害者支援施設
一般相談支援
特定相談支援
移動支援
地域活動支援センター
福祉ホーム
盲人ホーム
その他